



川上孝裕様

今回は、またかな学校プロジェクトDVD
DVD貸し出しありがとうございました。
様々な人の熱い熱い思いが伝わり
内容もそうです。が感動しました。
一番は生徒が人との出会い、言葉の
力、命、自分の健康な体、障害を持って

おられる方、両親の存在など様々なこ
とに気付かす考えてくれたことが嬉
しかったです。川上様この映画で人生が
変わる生徒は必ずいます。ありがとう
ございました。

甲南高校・中学校

岡山

執事



ぼくは、こういう「バリアフリー」と言
う映画は初めて見た。この映画は体に障
害のある人も見れるものだ。たので、い
ちの映画とはちがう見方で見た。ぼくは、
たまに目をつぶ。たり、耳をふさいだりし
て見た。そうすると普通の生活とすごく変
わ。て不バんだ。た。いのも観ている映画
だと見ればいけど、この「バリアフリー」
だと障害を持つ。ている人達も見れるのでこ
れは良い映画だと思。た。

そして映画の内容は主人公が友達とうそ
をつき、そしてそのうそを實現するために
東京に行き色々な人と会う物語なのだ。そ
して、会。た人が「また必ず会おう」と言
う映画なのだ。主人公はこの旅で色々な人
に会。て前の自分の変わ。ていくことで自
分に自信が付くのです。

ぼくは、この映画で学んだ事は、ぼくは
まだ最初の主人公みないだけ。この映画
を見て思い通りの行動をとる事が重要だ
と思。いました。だから、これからはこの事を

意識して行動したいと思。た。

今回の映画はいつもとは違い、音声や字幕付きで途中、目をつぶ。たり、耳をこい
たりして見ていました。音声や字幕だけでは
は分かりな所もあ。たけれど、意外と理
解しなから楽しむことができました。

この映画の中で、僕が個人的に一番気に入。
た人物は、柳下さんです。この人が一
番気に入。た理由は、自分がガンだとし。
たのに、前向きに考え、そのまま旅に出て
しまおうという凄行行動かと、意外と正論を
たたきこんできたかと思えば、笑えること
も沢山言。ていて、一緒にいるとしても楽
しそうだからです。

この映画の主役であつた和也についてま
ず最初に思。たのは運が良いなという事
です。あんなに知らない人を受け入れてくれ
る人々がある日本はいいなと思ひました。

そして和也が最後に少年に、「また必ず
会おう」という言葉は感動的だ。た。

今まで学校で見た映画で一番おもしろ分
った。また、見てみたい。

ぼくは、この物語をみて「さよなら」と
言わば「また必ず会おう」と言、てみたくな
りました。なぜならこの物語は一つの出
会いがうはじまり、たくさんの出会いが和
也の人生をかえて、いろいろな出会いには
いろいろなわけがあるのものでその一つ一つ
の出会いを大切にすることが大事なんだな
と思、たからです。

バリアフリーの映画をみたのはぼくはほ
じめてだったけど耳が悪い人や目が悪い人
でもみれる映画もあるんだなと思、ました。
目をつぶ、たりして聞いても少しはついて
いけなくてもほとんど普通にみているのと
かわらないくらい鼻しめて感、しました。

この映画をみて、ぼくは原作の本も読ん
でみたくな、たので学校の朝の読書でもよ
んだりしたいです。

和也みたいに優しい人でないとあんなこ
とほびきないなと思、たので和也みたいに
優しくたまにはウソをついてしまおうけど
あんな人になりたいです。

ほくは この映画を見て成長するにほや
ったことのないことを挑戦していかないと
ためなんだと思いました。それと、人から
大切なことを教わることも成長につながる
のでほないかと思いました。この映画では
主人公がいまままでのことのない一人旅に
挑戦します。最終的には家に帰れるのだが
それまでの間にたくさんの人と会い、たく
さんのことを教わり、支えられました。そ
の人たちは他の人からしてほあまりやりた
くないことでも主人公のために色んなこと
をしてくれました。そのような人たちは尊
敬するべきだし、その中でしっかりと成長
していく主人公に尊敬すべきだと思いま
した。この映画はこれから99年生ずると自
分たちに関わるかもしれない内容なのでこ
の映画は絶対に忘れてほいけないものだと
思いました。

今回、このビデオをみて、人は誰かに支
えてもらわなくて生きていけないうら
しさがわかりました。その人として別れて
しまったとしても「また必ず会おう」とい
う思いはみんな思っていると思います。

主人公のことを書くと、主人公はつら
い人にも助けられていたなあと思いま
した。その優しい人と会ったのも一つの出
会ったと思います。その人と、もめたり仲良
くなったりします。これも「また必ず会いた
い」と思うのはいいことだと思います。
もう一つの思ったのは成長です。初めは
友達にうそをついた所から始まったけど、
最後は人のために父、母から了解をもらい
人のために行動していたのでとても成長し
ていたと思います。

このビデオをみて、人に優しいなあと思
いました。早くも始めて、耳をふさいで聞
いたり、目をふさいでしたりして聞きまし
た。これからは体の不自由な人のことも考
えていきたいです。

僕は、この映画を見て思、たのめ内容てはななく、バリアフリーて上映されてる事についてです。

僕は、目を閉じてみたり、耳をふさいだりしてこの映画を見たんですけど、バリアフリーのおかげで、目を開けてる時、耳をふさいでいない時と、ほとんど同じように見る事ができました。バリアフリーという機能は良いなと思いました。

僕は、今まで人との関係で大きく人生が変わると思、ていませんとした。でも、この映画を見て、人と真剣に接すると、自分自身の気持ちか何事にも良い方、良い方に行、ている事に気づき、僕もどんな人てても、真剣に接することて、自分が成長するという事を勉強しました。

特に、この映画で思、たのは、一人一人から学ぶ事がちが、ている事に気づきました。僕自身今後、その人に何を伝えてもら、ているか、考えながら、中學生活、高校、社会人を生きようて思、ていりました。

ほくはこのまたかなと見てまず感じたこと
と、バリアフリーがついていたことであ
始めはうるさいなど見入はあがるなと思
ました。実際に目を回さしたり耳をふさ
いだりしてみると、バリアフリーがなると
全く理解ができないうことには気がま
した。えういう誰かおても理解できるとい
う所が僕がまたかなも気に入った一つの理
由でもあると思ひます。はじめはうそつき
で見栄っ張りだった私でも、この旅をへて
おごく成長していったと思ひます。

ほくがこの瞬間をへて思つたのはほんのさ
さいなうそが、親にまとうそをついて大
変なことになつたのでまお小さなうそでも
つかないこと。

和せはこの旅イ色々なことありとていい
い青年から大人に変わったと思ひます。

和せは誰にもうそをつかぬと思ひ、こ
の旅でもさつた優して色々な人における
ことがてきると思ひました。

ほくも和せみたりに色々な人になります。

この映画を見て、人と出会うことの大切
さを学びました。はじめは、嘘をついてい
た和也が、いろいろな人と出会ううちに、
成長していききました。僕は、人と出会うこ
この大切さを考えていなかった。けれど、これ
から、人とのつながりを大切に考えてしこ
うと思いました。

この映画はバリアフリーという形で見れ
ましたが、僕自身、耳をつぶったりしてみ
ると、全然違うことに気付きました。僕は
健康で不自由もなく恵まれていました。なの
で体の大切にしたり、精一杯生きようと思
いました。

何かやろうとするにしても、精一杯やる
だけで結果が変わり、人のためにすること
の大切さわかりました。

この映画は自分を考え直す良い体験とな
りました。

ありがとうございました。

まず作品の特徴としてバリエーションだ、
た、ということで自分としてはこのような作
品を観るのは初めてだ、だが、より多くの
人に観てほしい、ということでも工夫も
されていき、製作するため費用も共出し
てくれる人がいて出来上がったものだ、と
思うと、予でも工夫がされていゝなと
関心した。

この作品の内容に関しては、最初はおチ
ャウリボーイだ、た、いろいろな人と接
して、くうろに大人としての階段が一つ一
つ上がっていき、その内、自分の刻であ
るものに気付いてきたので、あの幼い子に
も母親と接して、自分の力で問題をかい
けつが出来てほしいと逆に教える立場に
なると、た、ということ、自分に振り返ってみ
ると、今までいろいろな人と接してきた
が、やはり少し好き嫌いが出てしまっ
ていゝし、それだけのところから少し下も学ぼうと
する気持ちが出ていゝと思うので、改め
て考え直し、実行していきな、いゝ。

この映画を通じてとても大切に思えた事は、言葉の大切を知りました。

映画の題名にもある通り和也が旅をして会った人たちにまた会おうと言ってもらっていたところがとても感動しました。

人休み人な良い言葉を書いてもらうとうれしくなると思いました。この映画で一番物語が長かった柳下さんのところは、自由ほわいて語っていました。柳下さんは和也のことをよく知り、和也に大切にすることを教えていたところはとても印象的でした。

この映画はバリアフリーの映画で何か障害がある人のためにこの映画を少しでもあがってほしいという思いでつくられたと思います。日頃、目をつけていないところかもしれませんが、親切な心があると知りました。

忘れがたい言葉の大切さ、親切な気持ちを持つてる人間になりたいです。

この映画はバリアフリーだ。たのて、最初は少し新しい感覚で慣れなかつたけど、途中から目をつぶったり、耳をふさいだりして普段とは違つて感覚で見る事ができました。

僕がそういう風に見て感じた事は、普段見ている世界とは違つて、音や光が無いとこんなにも不便で、物事を想像しにくくいったという事です。

今、僕は特に何の障害もなく暮らしているけど、僕のような人だけではなく、障害をもつて生活している人もいるという事を改めて知つておかなければならないと思ひました。また、これからもより一層そういう人たちに気を配つて生活していきたいと思ひます。

映画の内容は、今まで見てきた映画とはまた違つた新しい感じで、とても面白かつたです。

原作の方も機会があればぜひ見てみたいと思ひました。

自分を見つめ直した時に、思う事はいつ
も同じだ。自分の生き方の正しさについて
考えてしまう。

今回「またかな」という映画を見て真に
考えるべき事は正しさなんかではないとい
う事だと感じた。本当に大切な物は正しい
かどうかではないと思うようになった。

自分他人に負けるのがきらいだ。た。ス
ポーツでも勉強でも負けるのだけは嫌いな
性格だ。た。だが、この映画を見て変わった。
勝つ事で満足感を得るのが自分の生き
方だと思っていた。勝つ事が全てだと思
っていた。しかし、本当の自分の生き方
はそこには無かった。た。本当の自分の生き方
は正しいではないと「またかな」が気付か
せてくれた。正しい生き方なんて無いのだ
と、生き方他人をえぞ未自由なんだと。そ
の自由の幅を広げてくれるのが出会ったと
いふ事も教えてくれた。

これからぼんやり人と生きていく。た。こ
の世に完やオセロ人なびいがないんだから。

映画を見て思、たニとはいるいるありま
す。まずはバリアフリー、てニとです。目
や耳が悪い人でも見れる映画なのでとても
すこいと思、ました。バリアフリーの映画
が、ほり出たらいいなと思、ました。
オリンピック、パラリンピックといわれる
ように体の不自由な人にも同じように何で
もできるよにな、てほしいと思、ました。
映画の内容は知世の短持ちは何となくあ
がります。ささいなうそをついてしまふと
どんどん大きくな、ていきます。あ、とう
そをついていかないといけません。人をだ
ますだけでなく自分をだましてしまふニと
は絶対よくないと思、ます。又、やはり人
は一人で生きているのではなく色々な人に
支えられて生きていくのがと思、ました。
ぼくもこれからはまわりの人に感射しな
がらうそをつくニとなくかんば、て生きて
いきたいと思、ました。

ぼくは、「また必お会ううと誰か言った
を親で、人は変われるんだなと思いました。
なぜなら、最初の方の和也と最後の方の和
也が全然違ったからです。最初の方の和也
は、自分から何もできなかつたのに、最後
の方は自分一人でちゃんと生きていけそう
な人になっていたのて、人との出会いは大
切なんだなと感じました。バリアフリーの
映画は初めてだったので、少し変な感じが
しましたが、目をこらしてみたりすると、
とても分かりやすくおどろきました。障
害の人にはとてもありがたいもへだなと思
いました。亮平は最初はとてもいい人だ
なと思っていただけ、最後にはとても優し
かったのて見直しました。和也と会ったみ
んなは少しおかしところもあったけど、
みんな優しくていい人だったなと思いまし
た。けど、亮平の家族はとてもいい人で
した。僕も和也や亮平たちのように優しく
なりたいです。

今回、この映画を観て、バリアフリーの大切さを色々なことを学びました。

僕はこの映画で一番思ったことは、うすをフリフはりけ有りという事です。1フうすをフくと、そこから、2フ、3フ、4フ、とうすが増えたり、周囲への誤解は増えたり、信用などが減ったり、ということ、僕はこれからも全対にうすフが有りておこうと強く思いました。

もう1フ思、たことは、バリアフリーで身体に障害のある人への心配りや気づかいはとても大切なこと、僕は、町中を歩いて身体に障害のある方に出会ったときは、心良く対応しようと思いました。

今回の映画を観て、自分自身にも役立つ話だったので、見わけても良かったと思います。

つまらない嘘から始まり、嘘と現実にし
ようとする。そんな主人公に共感してしま
った。ついでに嘘はそこまで大げさくないが
僕もこのような経験があるからだと思う。
主人公は最初月りの人間にも嘘つきだと思
われていた。しかし、飛行機と迷ったこと
から始まり、帰る道中様々な個性のある人物
に出会い、助けられ、助けて成長していく
のが見てとれておもしろい。た。田中さん
に人よりも先に動くということを教られた
ことが、柳下さんが体調不良の時に、こ
にでてくるのを見られた。別れ際に、田
中さんと初め、田中さんの別れた後、柳下
さん、潤ちゃん、リョウヘイさんと主人公
が少しづつ変えていくのは少し感動した。
最後、昔の主人公を似せていて、嘘をつきつ
づけるリョウヘイにお母さんに別れを告げ
てくるよう諭した時に、主人公が教えるも
らう側から教えられる側に変わり、ふつと感じた。

今回の物語では、かすやかつをまつくと
ニウから始まりました。僕は今回この映画
を通して得たことは人の温もり、人との接
かりの大切さです。まず初めに、かすやの
旅をやる上で出会ったのは田中さん。この
方からは人より早く行動すること、見返り
を求めないこと、何でも積極的にすること
を学ぶ。この田中さんから息子にプレゼント
を届けてほしいと言われ、かすやは静岡ま
で行きました。そこで出会ったのが理容室
のおじさん。この人からは人の優しさ、そ
して次に出会ったのはトラック運転手のや
ぎ下さん。この人からは人の自由さについ
て学びました。この今まで出会った人、全
員がかすやに伝えたのは「また会おう。」
という言葉です。僕は、この言葉にすごく
何か胸の内にくるものがありました。また
会おうと言われるだけで心がすごく楽にな
るような気がします。今回、この映画に出
会えて、人の温もり、人との接かりの大切
さ以外にも色々な事を教わったそんな物語
でした。

旅の中で色々な人々と出会い、それぞれと出会った場所でも色々な事を気付かされた主人公。最初は嘘で旅に行くことが決まった主人公は嘘をついたことをバカが当たり、財布と盗まれ、飛行機を逃し、そして友達には再び「嘘」をつく。負の連鎖だが、旅の途中に出会う人々に恵まれ、最後には無事に帰ることができた。僕がこの映画を観て気付かされたことは「出会い」です。主人公が苦しい時、ツライ時は出会った人々がサポートしていたのを観て、人との出会いって本当に大切だ。と気付くことができました。しかも、出会う人それぞれに個人的な事情がある人達ばかり。なのに対して優しく、人の優しさ、温かみというのを感じました。これから大学生活がどんどん人旅をする時があると思います。その時に出会った人々と深い仲を築けるようにしたいです。この度は自分の人生に映る映画を観た光栄です。

この作品の中には、いくつかの心に残った場面・言葉がありました。例えば、「他人のせいにするか、自分のせいにするか」です。人は何か失敗すると、言い訳をしたり罪を逃れようとして他人のせいにしようとし、します。しかし、それでは何にも解決しないし、誰の得にもなりません。じゃあどうすればいいのでしょうか。僕が考える答えは、自分がやった事は他人のせいにするのではなく自分自身で責任を持つということです。でもそれは、簡単な事ではないと思います。かといって責任を持たないわけにはいきません。

自分は今、何か失敗すると言い訳をし、他人のせいにし、何とか逃げようとしています。

駄目だと分かっていながらもしてしまっています。なのでこの機会に自分がやった事に責任を持ち、自分自身で解決していきたいと思えます。そうすればきっと自分にと、って得な事が起こる気がします。とても面白く良い作品でした。原作も読んでおたいと思います。

思いました。

今日「また必ず会おう」と誰もか言
たを聞いて、今の自分も初めの香月知也と同
じように自分自身や同様にウソをついて、
楽になろうとしていたから、今の高校生活
が将来の自分にと、乙本当に良い物にた
まうとおくわえているから、を考え直すことか
らできた。今の自分は親や先生や友達、た
くさんの人の支えがある。乙高校に通えたり、
部活をしてみたり、今を生きていく。けれど
人の事をあたり前と感じている、この自
分や、見られたいか、たう良い。乙自分に
甘えがある道を選んではしまった事が思い返
せばたうとさんあると思う。けれど今回この映
画を観る機会を作、乙もう乙気づくこと
かできたと思う。今日の映画を自分の将来
今後にどう活かせるかは自分次第だやう。
少し乙も良い方向に進めようように取りか
たいと思うし、これかう出会う人たうにも
今回学べた事を伝えたいようにしたいと思
う。

僕は今日でいふ人な人た出逢つてしました。そしてその人たろに支えられて今の自分があります。自分の両親はもろろん、学校の先生も、友達もたたく人た天えられて今僕は過していきのどといふことを改めて感じました。その人たろに何か恩返しが出来ていふかは自分で出来るか知らないけれど、自分がお世話になった以上にその人たろに恩返しできようになりたうと思ひました。主人公は一人旅の中た多くの人と出逢ひ、その一人たが「またお会いしよう」と言つていきました。僕もまた会いたうと思つてくわい人が一人た増えるまう。今後の人をまうていこうと思ひました。高校を卒業して下学に行つて、下人たなつてこわいもたたたく人た出逢ひ、支えられてまうていくと思つたので、一つ一つの出逢ひに感謝して、その出逢ひを大切にしていこうと思ひました。

今回自分は「また必ず会おうと誰もが言
った」を見せてもらった。人々との交
がりの大切さを感じました。主人公はたく
さんとの関わりで「く」中でたくさんの大
切な事に気づいていました。例えば人は
お世話に会ったときに何をどういふ気持ち
で草木は...のか。何が悪い...とが起きました
と...に人の世...するの自分へ...にす
るのか...との人々関わりは...大げら得るこ
とができるが、た...とと学ばました。草木
は自分も今お世話に会った...人へどう
いふ気持ちで何を...の...か...と
える...か...に...ました。そして自分が
一番感じました...は人々の...と...の
は本当に奇跡的...も...度...と...
...と...自分は今...人々の...が
り...を...重く...と...人...
今後...の映画を見て感じた...と...か
...人の接し方...、...人々の...が
と大切に...と...ました...と思...し
ました。

映画『また必ず会おう』と誰かが言
た。それを見た、自然と嬉しきの主人公、香月
和也と自分を照らし、今や、と見ている自分
がいました。主人公本人のみを見ていると、
彼が成長して行く様子がみられる。そして
はやくの人との出会いがありました。
今日のこの映画を見た私は「自分」とい
う存在、周りの人によって作り上げられ
成長して行くのだ、と思いました。この
映画は、この「自分」を作り上げてく
人達の「出会い」の大切さについて信じて
いる、と私の感じました。
私にとって「自分」を作り上げるのは周
りであると同時に、周りの人にとって、それは私
は、周りの人の「自分」を作る人であるとい
うことだと私は思いました。人の「自分
」を作る人の「自分」は私自身。つまり、
私達は周りの人と支え合って生きていかな
ければならない、というのです。その為
には、「出会い」への感謝を忘れないこと
だと私は、この映画を見て改めて認識しま

した。

この作品を拝見して、魅力的な大人の人
達が自分の人生を一所懸命に生きていこうと
に感銘を受けました。

僕は中学二年生のときに部活にも入らず
勉強も特にまじめにやることもなく自堕落
な生活を送っていました。

三年生になつてからクラスメートの友人が、
部活にも入り、色々な人たちを見て、
今は自分の目標をもつて一生懸命に努力していま
す。

主人公の香月和也も僕と同じく色々な人
達と会い、その人達のおかげで変わってい
ったと思いましたし、僕も部活に入り、目
標をもってがんばっている人たちを見て少
しは変わりました。

今回の機会で、人を変えてくることが、
まわりの人たちだといふことを再確認でき
たので、これから目標となる人を見つけ
、将来は自分が人の目標になるようにが
んばりたいです。